

浜松医科大学

医歯薬マニュアル
進行編 主幹係一同

2018

☆進行係メンバー：

◎日高 川島 兵藤 川崎 鈴木（蓮） 山本 伊賀 塩田 中村 久松
服部 山口（真）

◆ シフト

一日目			
8:00	開場		
		鈴木、山口	マイク・アンプを放送室へ。(電源を入れておく)
		山本、塩田	放送室内設営(筆記用具等)
		兵藤	道場のじゃばら窓を開ける、雪駄の用意
		中村、服部	矢返し用の矢立を用意
			手の空いている人は弓具準備・巻き藁
	的付け(付け矢用)	日高、久松	幕・的の確認
		川島、川崎、伊賀	立札を並べる。
9:00	付け矢		
			終了次第、椅子2脚を放送室へ一時撤去
	的付け(矢渡し用)	日高	進行と的場のみで行う
		兵藤	矢渡し用の板を置く
		山口	マイク・アンプを審査員席へ。
		矢渡さない人	立札しまう
10:40	第二回主将会議		
11:20	開会式		終了次第マイク・アンプを放送室へ
	矢渡し(放送)	山本、塩田	
	的付け(団体戦用)	兵藤、日高	各大学の代表者で行う
		中村	放送室に撤去した椅子2脚を設置
		川島、川崎、山本、塩田	立札並べる
12:20	男子団体戦1立目		
	女子団体戦1立目		
	男子団体戦2立目		
	女子団体戦2立目		
~17:00	片づけ	川島、川崎	立札しまう
		鈴木、山口	マイク・アンプを審査員席へ
		中村	椅子2脚を放送室に戻す
		その他	モップかけ

二日目			
8:00	開場	鈴木、山口	マイク・アンプは放送室へ
		中村	椅子 2 脚(from 放送室)を並べる
		兵藤	道場のじゃばら窓を開ける
8:45	的付け(団体戦用)	川島、兵藤	各大学の代表者を行う
		女子	立札を並べる
9:05	男子団体戦 3 立目		
	女子団体戦 3 立目		
11:00	団体戦同中競射		
11:35	的替え(個人予選用)	川崎、服部	各大学の代表者を行う
11:55	男子個人戦予選 1 立目		
	女子個人戦予選 1 立目		
	男子個人戦予選 2 立目		
	女子個人戦予選 2 立目		
14:25	的替え(射詰め用)	決勝ない人	各大学の代表者を行う
			決勝戦のシフトを組む
			決勝戦の立ち順を組む
14:45	男子個人戦決勝 一手		
	女子個人戦決勝 一手		
	男子射詰め		
	女子射詰め		
	的替え(遠近用)		当該大学の代表者を行う
			引いていない大学の代表者を的場に。
	男女遠近		
	的付け(納射用)		進行と的場のみで行う。
			立札をしまう。椅子 2 脚を放送室に片づける。
16:25	納射		
	閉会式		マイク・アンプを審査員席へ。
17:00	第三回主将会議		
	片づけ		窓を閉める、モップ掛けなど

◆医歯葉のルール

〈団体戦〉

- ・男子団体は 5～6 名×四矢×3 立、順立、制限時間：9 分
- ・女子団体は 2～3 名×四矢×3 立、順立、制限時間：5 分 30 秒
- ・一分前コール、30 秒前+同時打起しコール有
- ・同時打起し以降の着順は問わない。
- ・1 立ごとに射場入れ替え有(反対側の射場に他のチームがいなくても行う)
男子： B | A → A | B
女子： D | C | B | A → C | D | A | B
- ・選手交代(立順の入れ替えも含む)は 3 立目から。
- ・一、二立目は個人戦予選を兼ねている。引き直し不可。
- ・交代した選手は個人予選を兼ねない。
- ・同中競射が発生した場合、3 立目の立順で行われる。
- ・同中競射は各人一手で行われ、それでも決着がつかない場合は以降各人一本で行う。
- ・3 位までを表彰。

〈個人戦〉

- ・予選通過条件…男子：8 射 5 中、女子：8 射 4 中
- ・団体戦で個人戦予選通過条件を満たさなかった選手は引き直しをしない。
- ・予選は三人山立ち、決勝は乱射
- ・予選通過者が 13 名以上の場合は一手競射を行う。(12 名以下の場合は 1 段目から 1 本競射)
- ・決勝 9 段目以降は小的で行う。
- ・遠近の人数が 10 人以上の場合は一本競射を行い 9 名以下にしてから遠近を行う。
- ・6 位までを表彰。

◆ 射場の呼び方

錬成館は 12 的付である。

前 6 的を**第一射場**、後 6 的を**第二射場**と呼ぶ。

仕切り棒でそれぞれの射場が 3 的ごとに区切られる場合、前から、

第一射場・第二射場・第三射場・第四射場と呼ぶ。

的は、六人団体の場合、前から**大前・二的・三的・四的・落前・落**

三人団体の場合、前から**大前・中・落**と呼ぶ。

「○立目△番立ち」という言い方に統一する。

例えば二週目の前から三番目の立なら「二立目三番立ち」という。

また、「ひとたちめ、ふたたちめ」と読む。いったちめ、にたちめではなく！

的場や記録との連携の際に重要なので必ず頭に叩き込んでください。

◆ 競射中の仕事

基本的に射場内に2名(第一射場・第二射場に1名ずつ)、放送室に2名配置する

射場内の者の主な仕事は

- ①的中の再確認・的場への連絡
- ②射場内でのトラブル対処

放送室の者の仕事は

1名が③アナウンス

1名が④時間計測(団体戦のみ)・アナウンスのサポート(特に個人戦決勝)・先生への伝達です

以下、**進行(射場)**、**進行(放送)**と書きます

●**進行(射場)**、**(トランシーバー)**の仕事

- ①中の再確認・的場への連絡、②射場内でのトラブル対処

～行射前～

- 1) トランシーバーを常に ON にしておく。(Ch1 が前看的・Ch2 が後看的)
 - ・イヤホンを片耳につけ、射場内に音が漏れないようにする
 - ※イヤホン接続部が直線であること、**接続後再起動**して使用する
イヤホンが抜けたときも再起動すること！
 - ・話し始める時にはボタンを押してから2, 3秒以上待ってから話すこと
 - ・「**前/後 看的聞こえますか？どうぞ、**」と相手を聞く体制にしてから要件を伝える
 - ・選手が射位に入るとき、何番立が入ったかの的場に連絡する
 - ※ラス番立のときはラストを強調する(棒を出したりしまったりするので)
- 2) 第二トラは、立の区切りの際には【記録】、【的場】、射場内、アナウンス、看的表示等、の項目を確認
→準備ができたなら【招集】に伝え、選手を射場内に入れてもらう。(トランシーバー用チェックリスト参照)

～行射中～

- 3) 看的や矢取りに支障があるとおもわれる場合(失・矢道に矢がささる・射場をまたぐ・盗的等)は【的場】に連絡を入れる。
- 4) 射場内の射手・介添に対し、必要ならば注意をする。
失の処理の仕方がわからず、困っている場合等があった場合、【**進行(射場)**】が適切に対応する。
(主に、失をした矢を【**進行(射場)**】が一度回収し、選手が退場する際、失した矢を渡す。)
- 5) 介添から弦切れ・横矢等の処理の申し出 or その他のトラブル発生時に必要と判断
→行射停止の指示を出し、処理する。
→弦切れ=1分間の延長、その他トラブル発生時にはアナウンスを行った段階で全射場の計測停止
- 6) 【**進行(射場)**】は再確認の有無を介添に聞く(2人いたら両方に)
→再確認が必要な場合は【**記録**】に速やかに伝える(介添の許可が取れるまで白旗をあげさせない)
また、アナウンスに白旗が見えるように必要があれば介添を誘導

～行射終了～

- 8) 介添から再確認が必要と伝えられた場合 or 【**記録**】が必要だと判断した場合
→【**記録**】が確認の際に**赤旗**を上げる
→【**的場**】にトランシーバーで再確認をお願いする
→【**的場**】が**地声で確認を行う**
→確認が全て終わったら【**記録**】が白旗を上げ、【**進行(放送)**】がアナウンスで矢取りを指示する

※確認が必要な矢が2本以上あり、何本目が的中か速やかにわからない場合【**記録**】から連絡が来て、【**進行(射場)**】が介添に確認を取る。

●進行(射場)の再確認の台詞(トランシーバー)

再確認の的が1つの的の場合

「_____の確認をお願いします。」

的場の的中確認(地声)

「了解しました。」

記録が白旗をあげる

再確認の的が2つ以上の場合(以下は2つの的の場合)

記録が赤旗をあげる

「_____と_____の確認をお願いします。」

的場が大前に近い方の的を確認する(地声)「確認します、____、____中です。」

「了解しました。」

記録が赤旗はあげたまま、白旗をあげて、すぐに下げる。

「続いて、_____の確認をお願いします。」

的場が大前から遠い方の的を確認する(地声)「確認します、____、____中です。」

「了解しました。」

記録が赤旗をおろし、白旗をあげる

※原則として前側の射場から確認する。再確認は同時進行で行ってください。

※医歯薬では「的(てき)」ではなく「二的(にてき)」と呼ぶようにする。

●進行(放送)の仕事

④アナウンス

- ・【進行(射場)】から受け取った立順表をもとに読み上げる。台詞は基本このマニュアルに書いてあります。
- ・ダブルチェックを徹底する。
 - ・行射後に【記録】が白旗を上げるのを確認したら、自分の目でも射場の安全確認を行う。(特に中断させる場合は要確認！)
 - ・的中確認を行う際、白旗が上がっていてもアイコンタクトなどして確認する。
- ・マイクについて
錬成館のものを使用します。古いです。主電源を入れてから5分くらいしないとマイクが入りません。基本的にアンプとマイクの主電源を入れておいて使う時のみレバー(下記参照)をおろしましょう。接触もすごく悪いので突然マイクが入らなくなることもあるかもしれません。その時は地声で頑張りましょう。
レバー：放送が入る場所が選択できます。左から、巻き藁場、射場、看的・矢取となっています。アナウンスをするときは射場と看的・矢取のレバーを下して使用してください。(的場係にも試合の進行がわかるように)

⑤時間計測・サポート・先生への伝達

- ・一日目、二日目の団体戦開始前と、決勝戦4段目以降、遠近開始前に立順表を先生方に1枚ずつ(×2人)渡す。(三澤先生はいらっしゃるかかわからないのでいらっしゃったら渡す。)
- ・「行射を開始してください」でストップウォッチを押す。全射場の行射が一時中断する場合のみ「新たな取りかけをお控えください」のアナウンスでストップウォッチを止める。
- ・団体戦では1分前と30秒前のアナウンスを行うので、それぞれの10秒前にはアナウンス担当に伝える。
- ・個人戦では必ず今誰が引いているのか、次は何位決定戦で、誰が引くのか把握しなければならないのでその情報をまとめる。
- ・団体戦3立目と個人戦決勝では招集と一緒に的中確認を行う。
- ・赤旗がしまわれているか、看的の表示がしまわれているか確認する。

トラブルの対処

行射を止めるとき：**まず進行(放送)に伝える！！→【的場】に連絡**

●危険矢、的ずれで全射場の行射がストップした場合

介添からの申し出を**進行(射場)**がうける or **進行(射場)**が介添に聞いてもいい。

→**進行(射場)**：まず**進行(放送)**に伝える、その後トランシーバーで前後両方の**【的場】**に伝える

※横矢が射場をまたいでいる場合はその旨を**【的場】**に伝える！！

→ **進行(放送)**：「第__射場において**横矢 or 的ずれ**が発生しました。

全射場、新たな取りかけをお控えください。」

→ **進行(放送)**：**ストップウォッチを止める(団体戦のみ)**

→ **進行(放送)**：全射場**【記録】**の白旗+取りかけている人がいないことを確認

→ **進行(放送)**：「赤旗お願いします。」(看的の赤旗が出る)

→ **進行(放送)**：**指示：第__射場の__** ください。

(横矢をはらってください・的ズレを直してください等)

→**進行(射場)**：的中確認がある場合は同様に行く

→**進行(射場)**：**的**の位置を射手に見てもらおう場合、射手に近づき、的場に**地声**で指示を出す

終了したら**地声**で、「ありがとうございました。」

→ **【的場】**が看的に戻り、赤旗がしまわれる。

→ **進行(放送)**：赤旗がしまわれたことを確認後、「行射を再開してください。」

→ **進行(放送)**：**ストップウォッチをつける(団体戦のみ)**

●棒に矢が当たる・棒がずれた場合

・基本的に**行射は止めず**、トランシーバーで**【的場】**に連絡し、矢取りの際に直してもらう

介添から申し出があった or 棒が**的**にかかるような大幅にずれた場合

→**進行(射場)**：まず**進行(放送)**に伝える、その後トランシーバーで**【的場】**に伝える

→ **進行(放送)**：「**トラブル**が発生しました。

全射場、新たな取りかけをお控えください。」

→**進行(射場)**：トランシーバーで**【的場】**に連絡

→ **進行(放送)**：**ストップウォッチを止める(団体戦のみ)**

→ **進行(放送)**：全射場**【記録】**の白旗+取りかけている人がいないことを確認

→ **進行(放送)**：「赤旗お願いします。」(看的の赤旗が出る)

→ **進行(放送)**：**指示：(1~3)の棒の位置を直してください**

→**進行(射場)**：棒の位置を見て、的場に**地声**で指示を出す

終了したら**地声**で、「ありがとうございました。」

→ **【的場】**が看的に戻り、赤旗がしまわれる。

→ **進行(放送)**：赤旗がしまわれたことを確認後、「行射を再開してください。」

→ **進行(放送)**：**ストップウォッチをつける(団体戦のみ)**

●弓が走った場合

選手が弓を取れる場合…介入する必要なし(射場担当は射手に取るよう促す)

射場内に弓が走り選手が取れない場合…他の選手の邪魔にならないように進行(射場)が対処

→どちらも【的場】に連絡する必要はない

矢道まで弓が走り選手が取れない場合…

介添から進行(射場)に連絡

→進行(射場)が進行(放送)に伝える

→進行(放送)：「第__射場にてトラブルが発生しました。新たな取りかけをお控えください。」

→進行(射場)：第二トラが射場の後ろ端、第一トラが射場内で受け取るため待機

→進行(放送)：ストップウォッチを止める(団体戦のみ)

→進行(放送)：全射場【記録】の白旗+取りかけている人がいないことを確認

→進行(放送)：「赤旗お願いします。」(看的の赤旗が出る)

→進行(放送)：「第__射場のトラブルに対処してください」

→進行(射場)：第二トラが弓を取りに行き、射場内の第一トラに渡す

→進行(射場)：第二トラは矢道からはける、第一トラは選手間に弓を渡す

→進行(射場)：矢道から出たら(安全が確保されたら)口頭で進行(放送)に伝える

→進行(放送)：「赤旗をしまってください」

→進行(放送)：赤旗がしまわれたことを確認後、「行射を再開してください。」

→進行(放送)：ストップウォッチをつける(団体戦のみ)

●サイレンが鳴るなどの不測の事態

→とにかく行射を止める！！！！

進行(放送)の判断で、

「トラブルが発生しました。行射を中断して下さい。」と行って行射を止めさせる。

止めさせた後は一度退場させる。

行射を止めないとき

●弦切れの対処

弦切れ発生！

→射手から弓を進行(射場)がうけとる。

→進行(射場)が弦をはる。

→弓を射手に返す

→進行(放送)波戸の射場で弦切れが発生したのかチェックしておく。

●弦切れ等で射場ごとに行射時間が異なる場合

1分前コール、三十秒前コールの際、

第__、__、__射場、1分前です。

といったように射場名をつけて言うようにする。

残り時間のアナウンスは「第2射場、1分前です。」「第1射場、第3射場、第4射場、30秒前です。」等射場を指定して行うようにしてください。

●盗的・はけ中り・射場をまたいだ横矢・矢道に矢がささった時

進行(射場)がトランシーバーで担当射場の【的場】にすぐ連絡する。

例：「第〇射場きこえますか、どうぞ」

→「第〇射場二番的が一番的に盗的したので注意してください。」

→「第〇射場四番的がはけあたりです、注意してください。」

→「第〇射場から第〇射場に横矢がでたので注意してください。」など

※盗的、はけ中りしたときは射場で引いている人数にかかわらず的の位置で言うようにしてください。

※横矢が射場をまたいでいるときは前後両方の看的に連絡する。

◆的付け・的替え

的場係に対する指示は地声でよい。的替えを始めるときは進行が合図をだす。

①付け矢用・矢渡し用・納射用

進行係と的場係で行う。付け矢用では立札を並べる。

②団体戦・個人戦予選・射詰め用

全大学の代表者で行う。

- ・進行係が、的が大体正しい位置につくよう指示を出す。この時立札を置く。
(一日目、二日目の初めのみひもが張ってある状態)
 - ・的が大体正しくついた後、各校代表者が集まっていることを確認し、**招集に言いに行って代表者を入れる。**
各校代表者に的の位置が正しいかをみてもらおう。(ひもはとった状態で、仕切り棒はおいていない)
 - ・1校の代表者から指摘があった場合、他校の代表者に意見を聞き、的の位置を直す。
 - ・全ての的が直し終わったら仕切り棒を置き、棒の位置も確認してもらおう。
 - ・代表者を帰し、第二射場担当者は的付けが終わったことを招集係に伝える。
- ※女子団体・個人戦の的替えでは第一～四射場の「大前、中、落」で支持する。

※射場内の椅子は記録係が並べる

※女子団体戦の立の前に仕切り棒を置くが、これは進行係と的場係のみで行う。

その前の男子団体でシフトだった進行(射場)が行う。

地声で指示を出せばよい。**12時、6時を前、後ろに移動させるように指示。**

棒は大前側から1の棒、2の棒、3の棒と呼ぶ。

つまり第一トラは1の棒を、第二トラは3の棒を確認することになる。

③射詰め9段目・遠近用

当該大学(射手の大学)の代表者で行う。

- ・射詰め9段目では、八寸的に的を変える。
- ・遠近用では新的にかえる。

◆試合進行と説明

●付け矢 各大学 15 分ずつ行う※大学ごとの間は 5 分

9:00~9:15 浜松医科大学・愛知医科大学

9:20~9:35 名古屋大学・愛知学院大学歯、薬学部

9:40~9:55 藤田医科大学・朝日大学

10:00~10:15 三重大学・岐阜大学

10:20~10:35 岐阜薬科大学・松本歯科大学

※浜医が引いているときは 15 の主管係が仕事をしてくれる

付け矢の時間になったら、看的の赤旗がしまわれていることを確認する。

「ただいまより _____ 大学と _____ 大学の付け矢を始めます。

行射を開始してください。」

ストップウォッチ押す

7 分後

「矢取を行いますので新たな取りかけをお控えください。」

進行(射場)はトランシーバーで的場に「そろそろ矢取りです。」と伝えておく。

記録の白旗の確認後、自分の目で取りかけている人がいないか確認する

「赤旗お願いします。」

看的の赤旗+拍手

「矢取りをお願いします。」

的場の矢取りが終わり、赤旗がしまわれたことを確認

「行射を再開してください。」

12 分後

「残り時間 3 分です。持ち矢で終了してください。」

進行(射場)はトランシーバーで的場に「そろそろ矢取りです。」と伝えておく。

15 分後

「時間になりました。付け矢を終了してください。」

記録の白旗の確認後、自分の目で取りかけている人がいないか確認する

「赤旗お願いします。」

看的の赤旗+拍手

「矢取りをお願いします。」

的場の矢取りが終わり、赤旗がしまわれたことを確認

付け矢を終えた大学が全て射場からはけたら、本部にいる次の大学の人を誘導する。

次の大学へ(最初へ戻る)or

最後の大学の付け矢が終わったらすぐに

「 _____ : _____ より主将会議を始めますので各大学の代表者の方は射場にお集まりください」

※的ずれが起こり、「直してほしい」と言われたら行射ストップ&ストップウォッチストップ

●主将会議

[会議の時間中やることなどを各自メモ]

主将会議終了

「まもなく開会式を行いますので選手の方は射場にお集まりください。」

●開会式 司会担当：日高

姿勢を正して下さい。

ただいまより、開会式を始めます。

一同、礼

開会宣言

ただいまより第48回東海医歯薬学生弓道大会を開会いたします。

国旗拝礼

浜松医科大学弓道部主将 久松優作 の先導により国旗に向かって一礼にてお願いします

（久松が前に出、国旗拝礼。久松は一旦前からはける）

優勝杯返還ならびにレプリカ授与

前年度 男子団体戦優勝 三重大学 女子団体戦優勝 名古屋大学

代表者の方は前までお越しく下さい

三澤先生が受け取り、レプリカを授与（塩田が先生に受け渡しをする）

大会審判員紹介

本大会の審判員を紹介します。

審判長 教士七段 岩田幸則先生

審判員 錬士五段 佐藤清昭先生

をお願いしております。よろしく申し上げます。

大会会長挨拶

浜松医科大学、弓道部部长 三澤清(みさわきよし) がご挨拶申し上げます。

主管校代表者挨拶

浜松医科大学、弓道部主将 久松優作 がご挨拶申し上げます

競技説明

本大会は、東海医歯薬学生弓道大会規約に準じて行ないます。

団体戦は男女それぞれ三位までを表彰します。男子団体は、1チーム6人立ち、女子団体は1チーム3人立ちとし、各射手12射の総的中数にて順位を決定します。制限時間は、男子9分、女子は5分30秒とします。弦切れの際は1分の延長としますが、何本切れても延長は1分間のみとします。個人戦は男女それぞれ六位までを表彰します。男子個人戦は、8射5中以上、女子個人戦は8射4中以上で予選通過とし、決定退場とします。団体戦の1立ち目、2立ち目は、個人戦予選を兼ねます。また、団体戦出場者で予選通過基準に満たなかった選手の引き直しを認めません。観客席からの矢声は原則として禁止とします。その他の注意事項に関しては、大会規約、細則に記載されていますので、確認をお願いいたします。

以上で開会式を終わります。

一同、礼

レプリカを受け取られた方は箱がございますので、前までお越しく下さい。

引き続き、射場にて、射手：鈴木蓮、第一介添：久松優作、第二介添：山口藍による矢渡しを行ないますので、観覧席よりどうぞご観覧ください。

解散してください。

●矢渡し

矢渡し中は全員射場からはける、放送室には観客席から見えないように2名残る

「只今より射手：鈴木蓮、第一介添：久松優作、第二介添：山口藍による矢渡しを行ないます。」

矢渡しが終わる次第

「的付けを行いますので各校の代表者は本部にお集まりください。

____時____分より男子団体戦1立目を行います。選手の方は第二控えにお集まりください。」

とアナウンス。

●男子団体戦 1 立目(制限時間 9 分)

的附けが終わり、他の準備もすべて終わったことを確認し、第二射場の進行(射場)は招集係に選手の入場をお願いする。 両射場の進行(射場)は、的場に選手が入場を始める旨をトランシーバーで伝える。

選手が射場内の椅子に座る。

只今より、男子団体戦 1 立目を行います。←1 番立のみ

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉 ←2 番立以降ここからルール

行射を開始してください。

ストップウォッチを押す

只今の立、

第一射場_____大学

大前	番	さん、	二的	番	さん
三的	番	さん、	四的	番	さん
落前	番	さん、	落	番	さん

第二射場_____大学

大前	番	さん、	二的	番	さん
三的	番	さん、	四的	番	さん
落前	番	さん、	落	番	さんです。

一分前です。

三十秒前です。同時打起しを開始してください。

(終了してください。)

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

退場する選手が椅子より前にいないことを確認。

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

進行(射場)は再確認があれば行こう。

次に入る立がラス番立の場合は的場へ連絡する。

記録の白旗を 2 本確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

最後の立(女子団体の前)では矢取りの際に仕切り棒が置かれるので、その位置や傾きは男子団体のシフトの進行(射場)がチェックする。地声で指示する。

●女子団体戦 1 立目(制限時間 5 分 30 秒)※一人で 2 射場担当する。

選手が射場内の椅子に座る。
的場の赤旗がしまわれていることを確認する。

只今より、女子団体戦 1 立目を行います。←1 番立のみ

起立。
(全員が本座を通り過ぎたら)
射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉 ←2 番立以降ここからルー

プ
行射を開始してください。

ストップウォッチを押す

只今の立、

第一射場 _____ 大学 _____ チーム _____
大前 _____ 番 _____ さん、中 _____ 番 _____ さん、落 _____ 番 _____ さん

第二射場 _____ 大学 _____ チーム _____
大前 _____ 番 _____ さん、中 _____ 番 _____ さん、落 _____ 番 _____ さん

第三射場 _____ 大学 _____ チーム _____
大前 _____ 番 _____ さん、中 _____ 番 _____ さん、落 _____ 番 _____ さん

第四射場 _____ 大学 _____ チーム _____
大前 _____ 番 _____ さん、中 _____ 番 _____ さん、落 _____ 番 _____ さん
です。

一分前です。
三十秒前です。同時打起しを開始してください。
(終了してください。)

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)
お願いします。(的場が出てくる)

退場する選手が椅子より前にいないことを確認。
起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

進行(射場)は再確認があれば行う。

次に入る立がラス番立の場合は的場へ連絡する。

記録が全員白旗をあげたことを確認して
ありがとうございました。矢取りをお願いします。

●男子団体戦__立目 (2 立ち目では立順の変更はない)(制限時間 9 分)

選手が射場内の椅子に座る。

只今より、男子団体戦__立目を行います。←1 番立のみ

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉 ←2 番立以降ここからルー
プ

行射を開始してください。

ストップウォッチを押す

只今の立、

第一射場_____大学、

(_____、 番	_____	さんにかわりまして	_____番	_____さん
_____、 番	_____	さんにかわりまして	_____番	_____さん)

第二射場_____大学、

(_____、 番	_____	さんにかわりまして	_____番	_____さん
_____、 番	_____	さんにかわりまして	_____番	_____さん)です。

一分前です。

三十秒前です。同時打起しを開始してください。

(終了してください。)

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

退場する選手が椅子より前にいないことを確認。

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

進行(射場)は再確認があれば行う。

次に入る立がラス番立の場合は的場へ連絡する。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

最後の立(女子団体の前)では矢取りの際に仕切り棒が置かれるので、
その位置や傾きは男子団体のシフトの進行(射場)がチェックする。地声で指示する。

●女子団体戦__立目 (2 立ち目では立順の変更はない)(制限時間 5 分 30 秒)

※3 立目では放送サポが招集と一緒に的中記録をして同中に備える。

選手が射場内の椅子に座る。

的場の赤旗がしまわれていることを確認

只今より、女子団体戦__立目を行います。←1 番立のみ
起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

(看的の赤旗がしまわれていること、団体の大前の胴造りが終わっていることを確認) ←2 番立以降ここからルー
プ

行射を開始してください。

ストップウォッチを押す

只今の立、

第一射場_____大学__チーム
(____、番 _____さんにかわりまして 番 _____さん)

第二射場_____大学__チーム
(____、番 _____さんにかわりまして 番 _____さん)

第三射場_____大学__チーム
(____、番 _____さんにかわりまして 番 _____さん)

第四射場_____大学__チーム
(____、番 _____さんにかわりまして 番 _____さん)です。

一分前です。

三十秒前です。同時打起しを開始してください。

(終了してください。)

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

退場する選手が椅子より前にいないことを確認。

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

進行(射場)は再確認があれば行う。

次に入る立がラス番立の場合は的場へ連絡する。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

☆団体戦同中競射について

招集と一緒に放送サポが記録している。同中があることが確定したら

→放送で「浜医に連絡します。男子 or 女子の同中があります。よろしくをお願いします」

「浜医に連絡します。同中はありません。個人戦を始めます。」

との場・射場内の進行係・記録係に連絡。

男子団体同中競射がある場合は的場が棒を除いているか必ず確認をする。

●男子団体戦同中競射 二団体の場合（同中競射は各人一本で行う。選手は一本持って射場に入り、介添に三本もたせる。）

選手が射場内の椅子に座る。

只今より男子団体戦_____決定戦を行います。

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉

行射を開始してください。

只今の立、

第一射場_____大学、第二射場_____大学です。

行射終了(選手は椅子に座っている)

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

進行(射場)は再確認があれば行う。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

→勝敗がついたら

只今の結果、_____大学：___中、_____大学：___中。

よって_____大学の_____, _____大学の_____が決定しました。

上位から読み上げる。(優勝→準優勝→三位)

起立。

退場してください。

→勝敗がつかなかったら

只今の結果、_____大学：___中、_____大学：___中。

よって、同中。

もう一度同中競射を行いますので、介添の方は選手に矢を1本渡してください。

矢が全員に配られる

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉

行射を開始してください。

行射中に進行(射場)は一本目の矢を介添に渡しておく(三本目が発生した場合)

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

進行(射場)は再確認があれば行う。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

※矢が足りなくならないように進行(射場)が介添に矢返しを適宜行います。

(退場・矢返しの時間がもたないで)

第二トラが矢返し、第一トラは必ず射場に残るようにする。

●男子団体戦同中競射 三団体以上の場合 (同中競射は各人一本で行う。選手は一本持って射場に入る。)

選手が射場内の椅子に座る。

只今より男子団体戦_____決定戦を行います。

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉

行射を開始してください。

只今の立、

第一射場_____大学、第二射場_____大学です。

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

進行(射場)は再確認があれば行う。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

〈団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉

行射を開始してください。

第一射場_____大学、(第二射場_____大学。)

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

進行(射場)は再確認があれば行う。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

勝敗がついたら

只今の結果、_____大学：____中、_____大学：____中、

_____大学：____中、_____大学：____中。

よって_____大学の____、(_____大学の____)が決定しました。

上位から読み上げる。(優勝→準優勝→三位)

勝敗がつかなかったら

只今の結果只今の結果、_____大学：____中、_____大学：____中、

_____大学：____中、_____大学：____中。

よって、_____大学と_____大学でもう一度同中競射を行います。

選手の入場を待って起立から始める。

例)準優勝は決まったけど、三位が決まらないとき

的中発表→よって〇〇大学の準優勝が決定しました。また××大学と△△大学で三位決定同中競射を行います。

●女子団体戦同中競射（同中競射は各人一本で行う。選手は一本持って射場に入り、介添に三本もたせる。）

選手が射場内の椅子に座る。

只今より女子団体戦_____決定戦を行います。

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉

行射を開始してください。

只今の立、

第一射場_____大学__チーム、第二射場_____大学__チーム、
(第三射場_____大学__チーム、第四射場_____大学__チーム) です。

行射終了(選手は椅子に座っている)

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

進行(射場)は再確認があれば行う。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

勝敗がついたら

只今の結果、_____大学__チーム：____中、_____大学__チーム：____中、
_____大学__チーム：____中、_____大学__チーム：____中。

よって、_____大学__チームの____、(_____大学__チームの____)が決定しました。
上位から読み上げる。(優勝→準優勝→三位)

起立。

退場してください。

勝敗がつかなかったら

只今の結果、_____大学__チーム：____中、_____大学__チーム：____中、
_____大学__チーム：____中、_____大学__チーム：____中。

よって同中。

もう一度同中競射を行いますので、介添の方は選手に矢を渡してください。

矢が全員に配られる

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈団体の大前の胴造りが終わっていることを確認〉

行射を開始してください。

行射中に進行(射場)は一本目の矢を介添に渡しておく(三本目が発生した場合)

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

進行(射場)は介添に再確認の有無をきく

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

進行(射場)は再確認があれば行う。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

●男女個人戦予選(団体戦で途中交代した選手は個人予選を兼ねない)

選手が射場内の椅子に座る。

只今より__子個人戦予選__立目を行います。 ←1番立のみ
起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)
射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、基本的に全員の胴造りが終わっていることを確認する。←ここからループ
故意に取り矢を行っていない者がいた場合には行射を開始してよい。〉

行射を開始してください。

只今の立、

番から	番	大学、	番から	番	大学、
番から	番	大学、	番から	番	大学、

(番号が飛んでいる場合は 番、 番、 番、 大学となる。) です。

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

前の立の選手が椅子の前にはいないことを確認

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

進行(射場)は再確認があれば行う。

確認後、次に入るのが何番立かを的場に伝える。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

※個人戦決勝についてはシフトが組めないなので、的替えの間にひかない人たちは放送室に集まり、シフトを決めてください。

●男女個人決勝射詰め開始前(13人以上一手競射、12人以下1本競射)

【進行(射場)】は予め【的場】にどの的で男子個人戦一手競射を始めるのかトランシーバーで伝えておく。

※個人戦決勝立の組み方 13人以上の場合

合計人数 一立目の人数/二立目の人数

13 7/6

14 8/6

15 9/6

16 12/4

17 12/5

●男女個人決勝射詰め(射詰め) 8段目まで、一手をやった後は3段目からのカウントなので注意

※招集係が一人放送室に来ます

只今より、__子個人戦決勝射詰めを行います。 ←1番立のみ

※一本競射の際に、矢を3本置いてない選手がいたら進行(射場)が矢を置くよう指示する。

起立。

(全員が本座を通り過ぎたら)

射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、基本的に全員の胴造りが終わっていることを確認する。←ここからループ
故意に取り矢を行っていない者がいた場合には行射を開始してよい。〉

行射を開始してください。

只今の立、

番から 番 大学、 番から 番 大学、
番から 番 大学、 番から 番 大学 です。

※三人以下の場合は番号・大学名・名前を読み上げる

只今の立、

番 大学 さん、 番 大学 さん、
番 大学 さんです。

四人以上の場合は番号・大学名のみ

全員が的中して次の段になってもメンバーが変わらない場合は番号等のアナウンスはしなくてよい。

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

進行(射場)は介添に再確認の有無をきく

赤旗お願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

(起立。射位にお入りください。)

進行(射場)は再確認があれば行う。

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

※放送サポは掲示からもらった個人予選通過者リストに決勝的中を【招集】と一緒に記録し、【記録】から回ってきた的中表を見て確認する。

※外した人には蛍光ペンで線を引く！

I. 全員が中てた or 全員が外した場合

【進行(射場)】: 看的表示を見て、口頭で放送室に**全員中てた(外した)ました。次は__段目です、**と伝える。

【進行(放送)】: 介添の方は矢を一本選手にお渡しください。

只今より、__子個人戦決勝射詰め__段目を行います。

起立。射位にお入りください。

II. 中てた人が6人以上の場合

【進行(射場)】: 看的表示を見て、口頭で放送室に**6人以上です、**と伝える。

【進行(放送)】: 外された選手は退場してください。的中された選手は前にお詰めください。

第一控えが整ったら

介添の方は矢を一本選手にお渡しください。

矢が渡されたのを確認し、

只今より、__子個人戦決勝射詰め__段目を行います。

起立。射位にお入りください。

III. 当てた人が5人以下ではずした人が1人の場合

【進行(射場)】: 看的・記録用紙をみて、口頭で放送室に__位__番と伝える。

【進行(放送)】: ただいまの結果、__子個人戦6位は__番__大学__さんに決定しました。

__番の選手は退場してください。的中された選手は前にお詰め下さい。

第一控えが整ったら

介添の方は矢を一本選手にお渡しください。

矢が渡されたのを確認し、

只今より、__子個人戦決勝射詰め__段目を行います。

起立。射位にお入りください。

IV. 当てた人が5人以下で外した人が2人以上の場合

【進行(射場)】: 看的・記録用紙をみて、口頭で

放送室に**外した人が2人以上いるので退場させてください、**と伝える。

【進行(放送)】: 外された選手は退場してください。的中された選手は前にお詰めください。

第一控えが整ったら

介添の方は矢を一本選手にお渡しください。

矢が渡されたのを確認し、

只今より、__子個人戦決勝射詰め__段目を行います。

起立。射位にお入りください。

V. 優勝者が決まった場合

【進行(射場)】: 看的・記録用紙をみて、口頭で放送室に**優勝は__番です、**と伝える。

【進行(放送)】: 只今の結果、__子個人戦優勝は__番__大学__さんに決定しました。

起立。退場してください。

※矢が無くなった場合は、介添のみ退場し矢返しの矢を受け取って、再度入場する。

【進行(射場)】: 放送室に口頭で、**矢返しのため介添を退場させてください、**と伝える。

【進行(放送)】: 矢返しを行いますので、介添の方は一旦退場してください。

介添が再入場し、第一控えが整ったら『介添の方は矢を一本選手にお渡しください。』

※8段目終了時点で優勝者が決まっていな時(小的に変える必要がある)

【進行(射場)】: 放送室に口頭で、**小的に変えるので、一度選手を退場させてください、**と伝える

【進行(放送)】: 的替えを行いますので、一旦退場してください。

起立。退場してください。

※男女個人の優勝者が決定したら、遠近をどのように行うかの場・審判員にメモ書きで渡す
また、優勝者や入賞者の名前を書いた紙を賞状書きと先生に渡す。

●遠近競射前

①遠近立を組む

一度に行える遠近は最大4つまで！遠近を行う的の一つ前のが空いていればよい。
選手は十二番的まで入れてよい。

つまり、

(同時に行う遠近該当者の合計)+(同時に行う遠近) $\times 2 < 12$ なら同時に遠近できる
前的高順位、男子→女子で組む。

例)男子2・3位決定遠近→男子4・5位決定遠近
男子5・6位決定遠近→女子2・3位決定遠近

②遠近用の用紙の記入(4枚)

的場用(何位決定・使う的を記入)・アナウンス用(何位決定・使う的・ゼッケン番号)・先生用(清書！)
的場からは用紙を受け取りに来るので渡す。

③的替え(男女の遠近で使う的が同時に的替えできるように！)

射場内アナウンス

的替えを行います。全大学の代表者の方は射場にお集まりください。

(当該大学代表者には的を見てもらう。非当該大学代表者には遠近の審判をしていただくため、的場へ誘導する。)

④射場の準備

第二射場の本座・射位の札を撤去する。

【記録】にどの的で遠近を行うか伝え、使わない射場の机に座っている【記録】にはけてもらう。

【記録】は遠近で使用する的がある射場にだけ座ってもらう。

※遠近競射は9人以下で行うので、10名以上が同一の順位決定戦にかかってしまったら一本競射を行い9人以下にする。以下簡単に流れを記す。

只今より__子個人戦_____位決定一本競射を行います。

起立。射位にお入りください。

(看的の赤旗がしまわれていること、基本的に全員の胴造りが終わっていることを確認する。

故意に取り矢を行っていない者がいた場合には行射を開始してよい。)

行射を開始してください。

____番から ____番 _____大学、 ____番 _____大学

行射終了

(全射場の記録係が白旗を上げていることを確認する)

赤旗をお願いします。(看的の赤旗が出て、手拍子)

お願いします。(的場が出てくる)

記録が全員白旗をあげたことを確認して

ありがとうございました。矢取りをお願いします。

●男女個人遠近競射

遠近においては射場で矢の受け取りを行う。また、非当該大学代表者又は佐藤先生と【的場】から2人（矢取り・矢拭き担当と矢を運ぶ担当）が看的小屋にいるか、選手がそろっているかの確認を【的場】で行う。

※佐藤先生が看的小屋に入りたいとおっしゃった場合は佐藤先生を連れていく。そうでない場合は【招集】に各大学の代表者を集めるよう指示し、そのまま連れて行ってもらう。

（両射場、トランシーバーでの的場からの連絡が来るまで待つ）

的場からの連絡が来たら、第二トラは招集に選手を入れるように頼みに行く。

なるべく立数を減らしたいので、複数の遠近を同時進行する可能性があります。臨機応変に対応してください。

只今より__子個人戦__位決定遠近競射、__子個人戦__位決定遠近競射を行います。

起立。射位にお入りください。

〈看的の赤旗がしまわれていること、大前の選手の胴造りが終わっていることを確認した後〉
行射を開始してください。

～行射～(大前の選手から順に射場内の椅子に戻る)
赤旗お願いします。

～的場から矢の受け渡しがされる～

選手に矢を配っていた人の最後の揖が終わったらアナウンスを始める。

只今の結果、

子個人戦	番	大学	さん
第 位、	番	大学	さん
子個人戦	番	大学	さん
第 位、	番	大学	さん

に決定しました。

※遠近では、順位は上の方から発表する

※順位のアナウンスでは「準優勝」という(2位・3位決定遠近でも！)

起立。退場してください。

遠近の方法(6人以上の場合)

選手がとまどっていたり、間違っていたりしたら射場担当者は適切に指示してください。

- ① 遠近該当者を全員第一控えに入場させる。
- ② 進行(放送)の「起立。射位にお入りください。」で前3人が射位に入り、矢をつがえる。
- ③ 残りの選手は一つ前の椅子に移動する。
- ④ 1人目の選手が引き終わったら、その選手は最後尾の椅子に移動する。
- ⑤ 2,3人目の選手は前に詰めて、4人目の選手が射位に入る。

以下③～⑤の繰り返しになります。

※5人以下で遠近を行う場合は全員立たせ、引き終わったら自分の椅子に座らせる。

※一つの遠近に対して該当者が10人以上いる場合、一本競射を行う。該当者が9人以下になるまで行う。

●納射

納射の直前に

「只今より男子個人戦優勝 _____ 大学 _____ さん、
女子個人戦優勝 _____ 大学 _____ さん、による納射を行います。
観覧席よりどうぞご覧ください。」

納射直後に

「 _____ 時 _____ 分より閉会式を行います。選手の方は射場にお集まりください。」

●閉会式(司会担当：日高)

姿勢を正して下さい。

ただいまより、閉会式を始めます
一同、礼

結果発表並びに表彰

※同時に表彰するときは三澤先生が優勝だけ読む。

呼ばれた団体・選手は前の方へお願いします

男子団体戦優勝 _____ 大学 〈表彰〉
(男子団体戦)準優勝 _____ 大学 〈表彰〉
(男子団体戦)第三位 _____ 大学 〈表彰〉

女子団体戦優勝 _____ 大学 チーム 〈表彰〉
(女子団体戦)準優勝 _____ 大学 チーム 〈表彰〉
(女子団体戦)第三位 _____ 大学 チーム 〈表彰〉

男子個人戦優勝 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(男子個人戦)準優勝 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(男子個人戦)第三位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(男子個人戦)第四位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(男子個人戦)第五位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(男子個人戦)第六位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉

女子個人戦優勝 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(女子個人戦)準優勝 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(女子個人戦)第三位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(女子個人戦)第四位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(女子個人戦)第五位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉
(女子個人戦)第六位 _____ 大学 _____ さん 〈表彰〉

〈表彰〉

時間ないときは0をとばし、まとめて表彰する。

男子優秀射技賞 _____ 大学 _____ さん
女子優秀射技賞 _____ 大学 _____ さん

〈表彰〉

賞状の授与の順；浜医、中日新聞東海本社、静岡県弓道連盟の順
授与は三澤先生にお願いする

*先生に賞状、トロフィーなどを渡す人：塩田

※時間がなく、まとめて賞状を渡す場合【進行】から何人か手伝う。

大会審判長講評

教士七段 岩田幸則先生、お願いします。

大会会長挨拶

浜松医科大学、弓道部部长 三澤清(みさわきよし) がご挨拶申し上げます。

主管校代表者挨拶

浜松医科大学弓道部主将 久松優作 がご挨拶申し上げます。

次期主管校代表者挨拶

岐阜大学の代表者の方お願いします

事前に挨拶をしていただくことを連絡しておく

国旗拝礼

浜松医科大学弓道部主将 久松優作 の先導により国旗に向かって一礼にてお願いします。

閉会宣言

これをもって第 48 回東海医歯薬学生弓道大会を閉会いたします。

以上で閉会式を終わります。

一同、礼

引き続き、連絡をさせていただきます。入賞者の方はトロフィー・盾の箱がございますので、前までお越しく下さい。

この後__時__分より主将会議を行ないますので、代表者の方は_____へお集まりください。

ごみについては各自で持ち帰っていただくようお願いいたします。

ゼッケン・介添りボンは受付にて回収いたします。

忘れ物など連絡(以下にメモ)

解散してください。

◆付録

●第二トランシーバーチェックリスト

- ・女子団体戦 1 立目と男子団体戦 2 立目の間は棒が矢取りと同時に除かれるのでそのまま選手を入れてよい
- ・男子団体戦のシフトだったトランシーバーが女子団体戦の前に棒を確認する
→次のシフトにトランシーバーを渡してから棒の確認に入る

プログラム	確認箇所	注意点
① 男子団体戦	アナウンス	進行 2 人～とメンバー表があるか
	記録係	前後の机に人・記録表があるか
	看的内	トラで準備の確認・何の立が入るか連絡 (第一、第二トラがそれぞれ聞き、両方 OK か確認する)
	射場内	木札・椅子のズレ・切れた弦がないか
	的場	的が 12 的・棒が 1 本あるか
② 女子団体戦	アナウンス	進行 2 人～とメンバー表があるか
	記録係	前後の机に人・記録表があるか
	看的内	トラで準備の確認・何の立が入るか連絡 (第一、第二トラがそれぞれ聞き、両方 OK か確認する)
	射場内	木札・椅子のズレ・切れた弦がないか
	的場	的が 12 的・棒が 3 本あるか(棒替えの間に上の四つを確認しておく)
③ 団体同中競射	アナウンス	進行 2 人～とメンバー表があるか
	記録係	前後の机に人・記録表があるか
	看的内	トラで準備の確認・何の立が入るか連絡 (第一、第二トラがそれぞれ聞き、両方 OK か確認する)
	射場内	木札・椅子のズレ・切れた弦がないか
	的場	的が 12 的・棒が 1 本あるか
④ 個人戦 1 立目	アナウンス	進行 1 人～とメンバー表があるか
	記録係	前後の机に 2 人・記録表があるか
	看的内	トラで準備の確認・何の立が入るか連絡 (第一、第二トラがそれぞれ聞き、両方 OK か確認する)
	射場内	木札・椅子のズレ・切れた弦がないか
	的場	12 的替えたか・棒 3 本あるか
⑤ 個人戦決勝射詰	アナウンス	進行 2 人～・記録表付きメンバー表・招集 1 人
	記録係	前後の机に人・紙があるか
	看的内	トラで準備の確認・何の立が入るか連絡 (第一、第二トラがそれぞれ聞き、両方 OK か確認する)
	射場内	木札・椅子のズレ・切れた弦がないか
	的場	人数分的替えたか・棒 1 本

プログラム	確認箇所	注意点
⑥人減らし射詰	アナウンス	進行 2 人～・ 記録表付きメンバー表・招集 1 人
	記録係	前後の机に人がいるか
	看的内	トラで準備の確認・何の立が入るか連絡 (第一、第二トラがそれぞれ聞き、両方 OK か確認する)
	射場内	木札・椅子のズレ・切れた弦がないか
	的場	的が 12 的・棒が 1 本あるか
⑦遠近競射	アナウンス	進行 2 人～・ 紙大量
	記録係	使う射場の机にだけ人がいるか
	看的内	準備の確認(先生 or 各大学の代表者) 何の立が入るか連絡(的場と先生に紙を渡したか) (第一、第二トラがそれぞれ聞き、両方 OK か確認する)
	射場内	木札・椅子のズレ・切れた弦がないか・ 魔法使いの準備
	的場	的替えたか・ 棒なし